

【2年学年経営方針】

1 目 標

- (1) 中堅学年としての自覚を促し生徒相互の連帯感を育てるとともに、人間の尊厳と人権を尊重し、相手を思いやる心を養う。
- (2) 生徒会活動・学級活動・部活動そして授業に意欲的に取り組み、自らの考えや思いを堂々と表現できる生徒を育成する。
- (3) 基礎学力の充実及び活用力の向上を図り、計画的に学習に取り組む生徒を育成する。

2 経営方針

(1) 本年度

- ・自他の長所を認め合い、よりよくなろうとする集団づくりに努める。
- ・生徒会活動や部活動への積極的な参加を促し、活力ある学年づくりに努める。
- ・基本的な生活習慣と家庭学習の定着を図り、確かな学力の育成に努める。

(2) 第3学年(次年度)

- ・中学校生活の最終学年として学習や部活動、生徒会の諸活動に積極的・意欲的に取り組む姿勢を育てる。
- ・生徒一人一人が輝いて活動できるよう、認め合い支え合う集団づくりに努める。
- ・実りある将来に向けて、それぞれに合った進路を選択・決定し、その実現ができるよう支援する。

3 具体的な指導・支援

(1) 学習指導

- ・生徒がわかる授業に努め、基礎・基本の確実な習得・習熟と活用力及び課題発見力を育成する。
- ・個に応じた指導を心がけ「個々の生徒を活かす」授業を推進する。
- ・家庭学習の定着を図り、自ら学ぶ生徒を育成する。

(2) 生徒指導

- ・基本的な生活習慣の定着を図り、大きな声で挨拶ができ、時間を守ることができる生徒を育てる。
- ・一人一人が自分らしさを大切にし、人それぞれの「らしさ」を認め合える関係づくりに努める。

(3) キャリア教育

- ・体験活動等を通して、職業生活や社会生活についての見識を深め、自分の適性に応じた進路選択の能力を養う。

(4) 特別活動

- ・学級活動や生徒会活動、各種行事への積極的な参加を促し、中堅学年として学校全体を考えた行動ができるようにする。
- ・各種行事や活動の計画・立案・実践を通してリーダーの育成を図る。

(5) 学年会

- ・毎日の学年打ち合わせを有効活用し、教職員相互の共通理解を十分図る。
- ・常に学年全体の生徒を視野に入れながら指導にあたる。
- ・校訓「らしくあれ」を念頭におき、教師自らも教師らしい態度で生徒に接する。